



I 第23週の発生動向 (2018/6/4~2018/6/10)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、B型8人でした。

II 第23週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ									8	0.89			8	0.12	-1
小児科	RSウイルス感染症	3	0.38	1	0.11	1	0.10	2	0.40	2	0.33			9	0.21	1
	咽頭結膜熱	4	0.50	7	0.78	2	0.20	2	0.40	2	0.33	1	0.25	18	0.43	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	4	0.50	6	0.67	18	1.80	2	0.40	7	1.17	7	1.75	44	1.05	-38
	感染性胃腸炎	83	10.38	43	4.78	64	6.40	50	10.00	21	3.50	27	6.75	288	6.86	4
	水痘	5	0.63	3	0.33	4	0.40	1	0.20	2	0.33			15	0.36	1
	手足口病	1	0.13	22	2.44									23	0.55	3
	伝染性紅斑							1	0.20					1	0.02	1
	突発性発しん	3	0.38	6	0.67	8	0.80	1	0.20	4	0.67	4	1.00	26	0.62	2
	ヘルパンギーナ			2	0.22	1	0.10							3	0.07	1
流行性耳下腺炎	2	0.25	1	0.11	14	1.40	1	0.20	11	1.83	2	0.50	31	0.74	-2	
眼科	急性出血性結膜炎															-1
	流行性角結膜炎	1	0.50			3	1.50	1	1.00	3	1.50			8	0.73	5
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											4	4.00	4	0.67	3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

重症熱性血小板減少症候群 (四類全数把握対象疾患) Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) は、SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれることで引き起こされるダニ媒介性感染症です。主な症状は発熱と消化器症状 (食欲低下、嘔吐、下痢、腹痛) で、重症化し、死亡することもあります。現在のところ、SFTS ウイルスに対して有効な薬剤やワクチンはありません。

2013年1月に国内で初めて患者が報告されて以来、2018年5月30日現在343人の患者が報告されており、ほとんどが50歳以上です。発症はマダニの活動期である5~8月の例が多く、西日本を中心とした23府県で届出されています(図1)。

マダニは屋内で普通に見られるダニとは全く種類が異なり、主に森林や草地などの屋外に生息し、比較的大型で、固い外皮に覆われています(図2)。全てのマダニが SFTS ウイルスを保有しているわけではなく、保有率は地域や季節によりますが、0~数%です。これまでに患者が報告された地域以外でも SFTS ウイルスを保有するマダニや感染した動物が確認されています。SFTS 患者の発症が確認されていない青森県でも注意が必要です。

草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくしてマダニに咬まれない予防対策を講じましょう。

○SFTS の予防やマダニに咬まれたときの対処等について、詳しくはこちらをご覧ください

☞ [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\) に関する Q&A \(厚生労働省 HP\)](#)

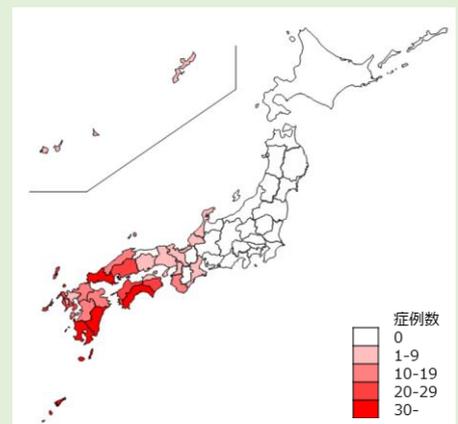


図1: SFTS 症例の届出地域 (2018年5月30日現在)
出典: 国立感染症研究所



図2 フタトゲチマダニ
出展: 国立感染症研究所



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人、上十三1人（2018年計：6人）
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：上十三1人（2018年計：3人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2018年計：19人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

麻しん疑い患者（全血、5/9）・・・HHV7：弘前1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第20週～2018年第23週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
20	H30.5.14 ~ H30.5.20	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	侵袭性肺炎球菌感 染症1人 水痘(入院例)1人				
21	H30.5.21 ~ H30.5.27	つつが虫病1人 百日咳1人	百日咳2人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	
22	H30.5.28 ~ H30.6.3	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	
23	H30.6.4 ~ H30.6.10	腸管出血性大腸菌 感染症1人	百日咳1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人 つつが虫病1人	

・第22週に上十三保健所管内で、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1名届け出がありましたので追加しまし
た。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第20週～2018年第23週)

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
20	H30.5.14 ~ H30.5.20		2	1		1	1
21	H30.5.21 ~ H30.5.27		1		1	1	
22	H30.5.28 ~ H30.6.3	1	1	1	1		
23	H30.6.4 ~ H30.6.10						

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第22週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	8651	2	78	558	18	10	168	358	4	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	1	27	1	1	76	53	52	1	2	18

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	1	524	1	336	80	678	7	334	8	89

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	342	511	32	211	17	1786	170	2601	73	38

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	21	1929	34	167	8

青森県（2018年第1週～2018年第23週までの累計）

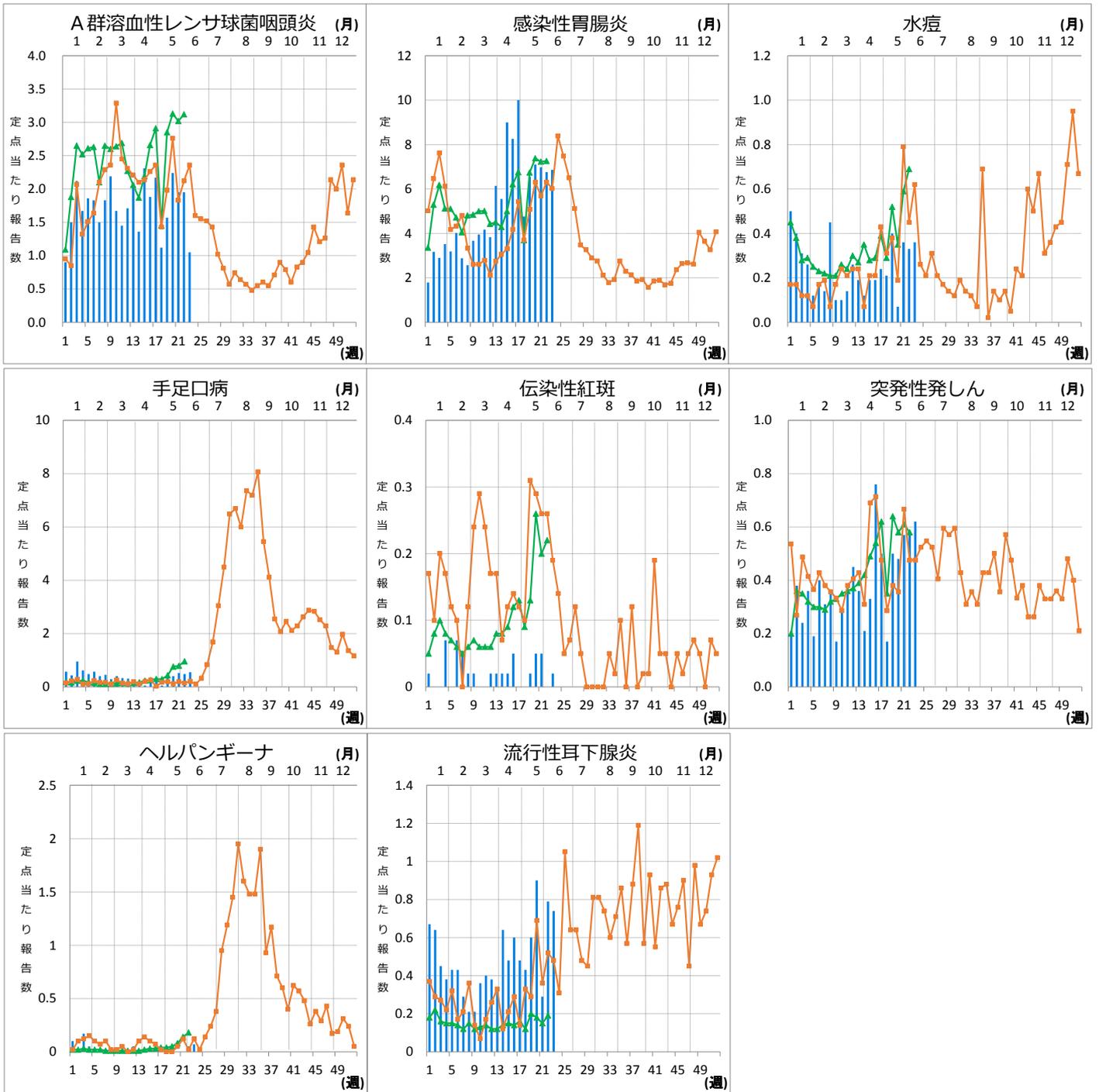
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	78	3	6	1	3	2	1	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	4	2	7	2	15	3	19

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第23週、ただし全国は前週）

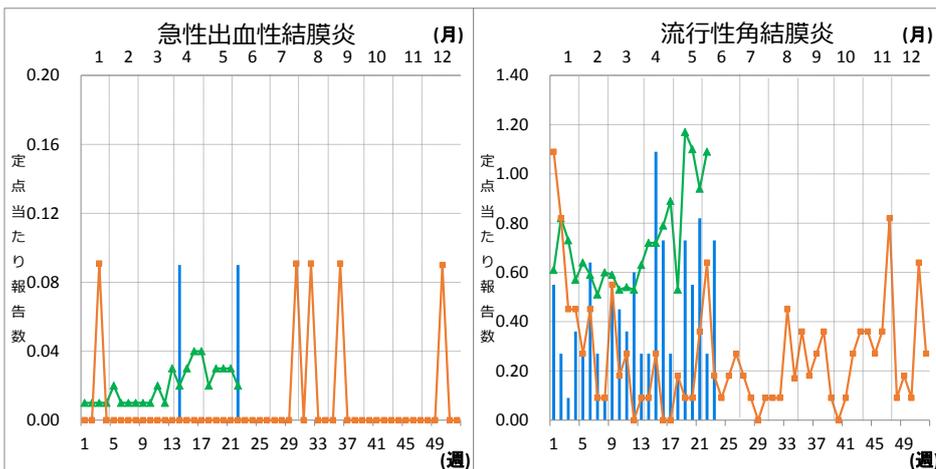
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





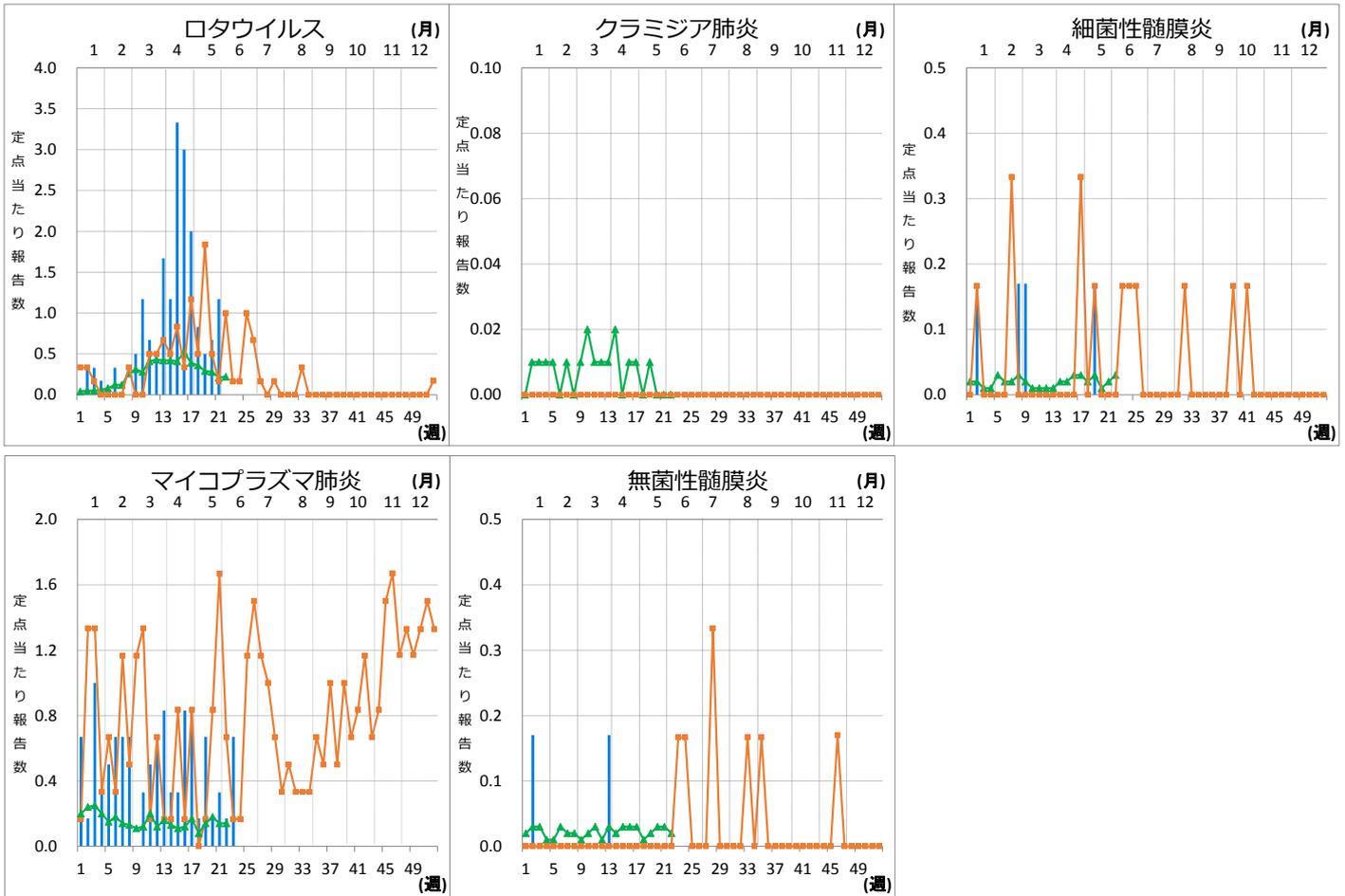
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第23週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← 2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第23週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第23週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22週 23週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	1	7
	発症者数	0	0	0	56	21	16	93
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	1	13
	発症者数	56	15	36	56	21	16	200